

GRO HARLEM BRUNDTLAND

First Female Prime Minister of Norway & Mother of Sustainability

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Topics

- Government
- Politics
- Women

持続可能な開発の「母」と見なされているグロハーレムブルントランド博士は、彼女の公衆衛生、環境、政治活動への情熱を父親、医者、内閣大臣に帰属させています。7歳の柔らかい年齢で、ブルントランド博士はノルウェーの労働党の子供たちの組織に参加し、それ以来メンバーになっています。彼女の家族に触発された国際主義の初期の種は、ハーバードでの彼女の経験の間に深く根を下ろし、世界中の著名な医療専門家と協力しました。

環境大臣、首相、政党指導者として、グロハーレムブルントランドは、主要なグローバルな課題、環境、人権、持続可能な開発、およびグローバルな安全保障の問題のリーダーとして国際的に認められました。Brundtland博士はオスロ大学で医学研究を終えました。若い母親で新たに資格を取得した医師として、ハーバード大学公衆衛生学部の奨学金を獲得しました。そこでは、健康を医学界の枠を超えて環境問題と人間開発に拡大するという彼女のビジョンが形になり始めました。

後にオスロの保健省に雇われ、ブルントランド博士は子供の健康問題に焦点を当てた。1974年に彼女は公衆衛生と環境の間のリンクに焦点を合わせてノルウェーの環境大臣を務めるように頼まれました。

1970年代、グロハーレムブルントランド博士は、女性の権利と進歩的な家族政策について働きかけ、家庭での政治的評判と、環境界での国際的な認知を得ました。41歳のときに、ブルントランド博士はノルウェーで最初の女性首相となり、史上最年少の任命者となりました。8人の女性と9人の男性の彼女のキャビネットは、ブルントランド博士が10年以上にわたって彼女の国を率いてきましたので、史上最高レベルの男女平等を表しています。

ブルントランド博士は、ランドマーク報告書「私たちの共通の未来」で持続可能な開発の概念を広めた世界環境開発委員会の議長を務めました。彼らの提言は、1992年にリオデジャネイロで行われた国連地球サミットに弾みをつけました。

彼女は医学のルーツに戻り、世界保健機関(WHO)の事務局長を務めました。医師、環境保護活動家、政治家、活動家としての彼女の相当なスキルを活用した地位です。彼女の前向きなリーダーシップの下で、WHOはSARSウイルスの世界的な脅威に立ち向かいました。彼女の迅速な対応と情報ネットワークは、この病気の広範囲にわたる成長の防止に大きく貢献しています。Brundtland博士はまた、経済発展の鍵としての世界的な健康に関する議論を強化し、マラリア、タバコの使用、結核、エイズを抑制するためのプログラムを始め、慢性疾患、食事、栄養に新たに焦点を当てました。

Brundtland博士は、主要な公衆衛生問題に関する最初の交渉された合意であるタバコ条約に対する支持を得ることに成功した後、2003年にWHOを去りました。その同じ年、彼女は、SARSへの迅速な世界的な対応を開始し、調整することで、サイエンティフィックアメリカンのポリシーリーダーオブザイヤーとして認められました。「医者になることと政治家になることの間には非常に密接な関係があります」と彼女は言った。「医者は病気を予防しようとし、それが来たらそ

れを治療しようとしています。それは政治家としてやろうとしていることとまったく同じですが、社会に関してです。」

ブランドランド博士は、国連の「脅威、課題、変化に関するハイレベルパネル」のメンバーを務めました。パネルの2004年のレポート「より安全な世界：私たちの責任の共有」には、集団安全保障の新しいビジョンの不可欠な部分としての持続可能な開発、および2011年に適用された原則である「保護する責任」の提案が含まれています。リビアとコートジボワール。2007年5月、国連事務総長のBan Ki-moonがBrundtland博士、元チリ大統領のRicardo Lagos²および元韓国の外相であるHan Seung-Sooを国連特別委員会に任命しました。気候変動担当特使。

また、2007年には、ネルソンマンデラによって召集され、大司教デズモンドチュチュが議長を務める11人のリーダーのグループである「エルダーズ」の創設メンバーとなり、彼らの知恵、独立したリーダーシップ、および誠実さで、紛争解決と世界をより良い場所にするという目標。彼女はテッドターナーが始めた「国連財団」理事会のメンバーであり、国連とその大義への10億ドルの寛大な贈り物です。彼女はまた、「核不拡散 軍縮に関する独立委員会」のメンバーも務めました。2010年、国連事務総長は彼女を彼の「高水準グローバルサステナビリティパネル」のメンバーに任命しました。

Brundtland博士は、健康で教育を受けた世界、そして持続可能な開発の擁護者のために、気候変動に関する主導的な発言者として広範囲に旅行し、講義を行っています。持続可能な開発の擁護者は、「将来の世代の権利を維持しながら、現在の世代の要求を満たすこと」と定義しています。自分のニーズを満たす。」彼女の数々の賞には、1988年の持続可能な開発に関するリーダーシップの第3回世界賞、1989年のインディラガンジー賞、1994年のインターナショナルカールスプレイスアーヘンが含まれます。スウェーデンのヨーテボリ市、および2004年にはブループラネット旭硝子財団賞。

彼女は、オックスフォード、ハーバード、イエールなどの主要な大学や、ケープタウン、オールインディアインスティテュートなどから多数の名誉学位を取得しています。